

**特定非営利活動法人日本火山学会**  
**2024 年度通常総会 議事録**

開催日時及び開催場所

2024 年 5 月 28 日（火） 12 時 30 分～13 時 30 分

千葉県千葉市 幕張メッセ国際会議場 103 号室（Zoom による中継も実施）

初めに出席数を確認した。定款第 26 条の規定により総会の開会は維持会員の 1/3 以上の出席をもって成立するが、通常総会開催時の維持会員は 276 名であり、定足数は 92 名となる。会場出席者 45 名、ウェブサイトのフォームへの記入による表決権行使者 73 名の計 118 名について、会長が出席者と認定し、定足数を満たしていることを確認した。これを受けて、総会の議長である会長が開会を宣言した。

議題 1 2023 年度決算案および 2023 年度決算に対する監査結果

財務委員会から提示された 2023 年度の決算案（別添資料 1）及び監事 2 名による監査結果（別添資料 2）を賛成多数により総会として承認した。

議題 2 2024 年度予算案

財務委員会から 2024 年度予算案（別添資料 3）が提案され、賛成多数により総会として承認した。

議題 3 2024 年度役員（理事）選挙結果の承認

本会の役員（理事）の任期が 2024 年 6 月 30 日で満了することに伴い、2024 年度理事選挙が実施された。選挙管理委員会から 2024 年度理事選挙の経緯及び結果（別添資料 4）が報告され、賛成多数により総会として承認した。

議題 4 選挙管理委員会の任務完了および選挙管理委員会解散の承認

選挙結果の報告及び承認を受けて、選挙管理委員会の任務が完了したことを確認し、選挙管理委員会を解散することを総会として承認した。

議題 5 2024 年度役員（監事）の選任

2024 年度役員（監事）として、篠原宏志会員、寅丸敦志会員を選任した。

議題 6 議事録署名人の選任

議事録署名人として千葉達朗・高木朗充 両副会長を選任した。

## 報告事項

- ・会長及び庶務委員会から、学会の財務状況について補足説明を行い、秋季大会において会員への説明及び意見交換の場を設ける予定であることを報告した。
- ・庶務委員会から、会員数動向、後援・協賛について報告した（別添資料5）。
- ・大会委員会から、2024年度及び2025年度の秋季大会について報告した（別添資料6）。
- ・編集委員会から、会誌「火山」の発刊・編集状況について報告した（別添資料7）。
- ・事業委員会・編集委員会・庶務委員会から、会誌「火山」のオンデマンド印刷冊子の販売について報告した（別添資料8）。
- ・将来計画委員会から、70周年記念事業及び学会運営の強化について報告した（別添資料9）。
- ・広報委員会から、SNSでの情報発信およびnoteの開設について報告した。
- ・国際委員会から、国際奨励費の廃止およびIAVCEIとの協定締結について報告した。
- ・学校教育委員会から、地震火山地質こどもサマースクールなどについて報告した（別添資料10）。
- ・火山防災委員会から、御岳山2014年噴火10年シンポジウム、JpGU2024関連セッション、火山防災シンポジウムについて報告した。
- ・各賞選考委員会から、2024年度日本火山学会各賞の授賞選考結果（別添資料11）が理事会で承認されたことを報告した。

以上、予定した審議事項を全て審議し議決したことを確認し、会長が閉会を宣言した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2024年6月11日

議長 藤田英輔

議事録署名人 高木朗充 千葉達朗

## 資料 1

## 2023 年度決算案

特定非営利活動に係る事業会計（単位：円）

2023 年 4 月 1 日から

2024 年 3 月 31 日

勘定科目	予算額	決算額	増減
《経常収入の部》			
会費収入	8,502,000	8,469,000	-33,000
寄付金収入	0	0	0
補助金等収入	1,100,000	949,787	-150,213
事業収入	6,684,000	6,316,969	-367,031
その他収入	150,200	158,857	8,657
経常収入合計	16,436,200	<b>15,894,613</b>	-541,587
《経常支出の部》			
【事業費】			
火山学に関する定期大会等の開催費	5,490,000	4,334,440	-1,155,560
会誌機関紙研究報告書等発行費	5,220,000	3,362,263	-1,857,737
公開講座講演会等開催費	1,280,000	944,862	-335,138
火山学の普及啓発に関する事業費	1,092,000	247,441	-844,559
火山学に関する研究奨励表彰費	500,000	23,976	-476,024
助成金支出	700,000	570,264	-129,736
期首・期末棚卸	0	59,374	59,374
【事業費】 合計	14,282,000	9,542,620	-4,739,380
【管理費】 合計	8,675,269	7,600,609	-1,074,660
【経常支出】 合計	22,957,269	<b>17,143,229</b>	-5,814,040
当期経常増減額	-6,521,069	<b>-1,248,616</b>	5,272,453
固定資産額		21,405,129	
期末棚卸額		1,168,719	
前渡金		1,226,700	
前払費用		40,242	
前期繰越収支差額		8,685,807	
次期繰越収支差額		6,252,015	-2,433,792

赤字 は 125 万円（経常収入 15,894 千円、経常支出 17,143 千円）

資料2

2023年度決算に対する監査結果

## 監査報告

特定非営利活動法人日本火山学会定款第6章第49条により、  
2023年度の事業・会計収支状況、預金・為替等の帳簿を監査した結果、適正に執行されていることを認めます。

2024年4月27日

特定非営利活動法人日本火山学会 会計監事

風早康平 

武尾実 

## 資料3

## 2024 年度予算案

非特定営利活動に係る事業会計（単位：円）

2024 年 4 月 1 日から  
2025 年 3 月 31 日まで

勘定科目	前年度決算額	予算額	予算額差異
<b>【経常収入】</b>			
会費収入	8,469,000	8,461,000	-8,000
寄付金収入	0	0	0
補助金等収入	949,787	900,000	-49,787
経常収入			
事業収入	6,316,969	7,824,000	1,507,031
その他収入	158,857	150,200	-8,657
<b>【経常収入】 合計</b>	<b>15,894,613</b>	<b>17,335,200</b>	<b>1,440,587</b>
<b>【経常支出】</b>			
火山学に関する定期大会等の開催費	3,362,263	4,160,000	797,737
会誌機関紙研究報告書等発行費	2,611,355	3,140,000	528,645
公開講座講演会等開催費	944,862	1,370,000	425,138
火山学の普及啓発に関する事業費	247,441	1,266,000	1,018,559
火山学に関する研究奨励表彰費	23,976	100,000	76,024
助成金支出	570,264	700,000	129,736
期首・期末棚卸	59,374	0	-59,374
事業費 計	9,542,620	14,076,000	4,533,380
管理費	7,600,609	8,479,553	878,944
<b>【経常支出】 合計</b>	<b>17,143,229</b>	<b>22,555,553</b>	<b>5,412,324</b>
当期経常増減額	-1,248,616	<b>-5,220,353</b>	-3,971,737
固定資産額	21,405,129	21,385,576	-19,553
期末棚卸額	1,168,719	1,168,719	0
前払費用	40,242	31,462	-8,780
前期繰越収支差額	8,685,807	7,478,715	-1,207,092
次期繰越収支差額	7,478,715	2,286,695	-5,192,020

資料4

2024年度理事選挙結果報告

選挙管理委員会

委員長：金子隆之 会員

委員： 小山崇夫 会員・行竹洋平 会員

2024年 特定非営利活動法人日本火山学会  
理事選挙結果報告書

特定非営利活動法人日本火山学会 2024年理事選挙（定数15）の立候補者は2024年2月15日午後5時の締切り時点で別表の13名でした。選挙管理委員会で立候補届の内容を検討した結果、すべての立候補者は選挙規程及び細則の候補者資格を満たしていると認定しました。

立候補者数が定数以下であったため会員による投票は行わず、別表の立候補者13名を理事選挙当選者とすることを提案します。

2024年 2月20日

特定非営利活動法人日本火山学会 選挙管理委員長

金子隆之 

特定非営利活動法人日本火山学会長 藤田英輔 様

## 2024 年度理事選挙結果報告（別表）

別表： 立候補者の氏名および所属（あいうえお順）

氏名	所属
青山 裕	北海道大学大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター
市原 美恵	東京大学地震研究所
上田 英樹	国立研究開発法人防災科学技術研究所
大野 希一	一般社団法人鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会
奥村 聡	東北大学大学院理学研究科
鬼澤 真也	気象研究所火山研究部
下司 信夫	国立研究開発法人産業技術総合研究所
東宮 昭彦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
中道 治久	京都大学防災研究所
中村美千彦	東北大学大学院理学研究科
萬年 一剛	神奈川県温泉地学研究所
山本 希	東北大学大学院理学研究科
横山 光	北翔大学教育文化学部教育学科

資料5

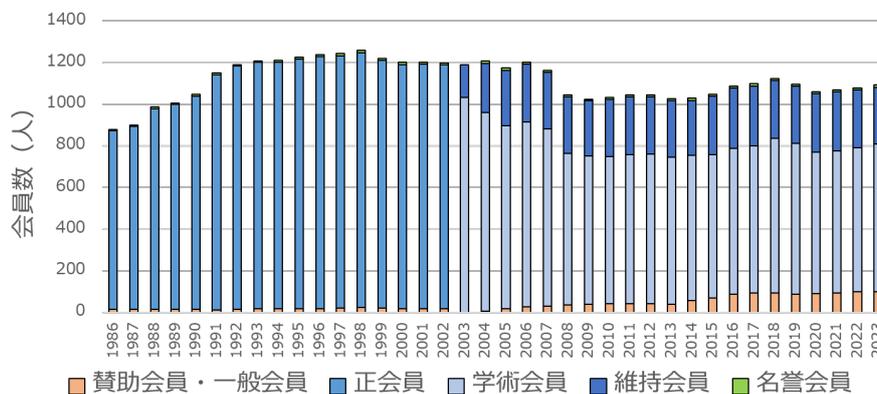
会員動向等（2024年5月25日時点）

	維持会員	学術会員	一般会員	計
2023年度臨時総会時（個人）・合計	271	710	95	1,076
2023年度臨時総会時（団体）・合計	1	0	19	20
名誉会員	11	0	0	11
2023年度臨時総会時・合計	283	710	114	1,107
2023年度臨時総会后・入会（個人）	0	0	4	4
2023年度臨時総会后・会員種別変更（個人）	1	-1	0	0
2023年度退会（個人／団体）	-9/0	-18/0	-3/-1	-30/-1
2023年度・学生会員期間満了退会	-2	-42	-2	-46
2024年度・逝去	0	-1	0	-1
2024年度・入会・承認済（個人／団体）	3/0	19/0	2/1	24/1
2024年度・会員種別変更（個人）	-2/2	-2/2	-1/1	0
2024年度通常総会時（個人）・合計	264	667	96	1,027
2024年度通常総会時（団体）・合計	1	0	19	20
名誉会員	11	0	0	11
<b>2024年度通常総会時・合計</b>	<b>276</b>	<b>667</b>	<b>115</b>	<b>1,058</b>

2024年度除名対象 9名（維持会員2名、学術会員3名、一般会員4名）

5月に警告書を発送し、8月末までに会費支払や継続希望の連絡がない場合、除名。

会員数推移



後援・協賛

【協賛金・負担金を支出するもの】：3件

地震火山地質こどもサマースクール、地学オリンピック、EPS 分担金

【協賛金・負担金が発生しないもの】：9件（2023 年度開催分）

- ・後援 シンポジウム「天変地異の時代～火山列島に生きる～」：(公財) 藤原ナチュラル  
ヒストリー振興財団
- ・後援 平成 20 年岩手・宮城内陸地震 15 年震災復興祈念シンポジウム：栗駒山麓ジオパ  
ーク推進協議会
- ・後援 第 66 回粘土科学討論会：一般社団法人 日本粘土学会
- ・後援 火山噴火と防災および観光シンポジウム 2023－草津白根山、御嶽山、箱根山  
－：火山噴火と防災および観光シンポジウム 2023－草津白根山、御嶽山、箱  
根山－ 実行委員会
- ・後援 火山災害軽減のための方策に関する国際ワークショップ 2023－大規模噴火による  
都市部への影響－：山梨県富士山科学研究所
- ・後援 山梨県富士山科学研究所 国際シンポジウム 2023－大規模噴火による火山近傍へ  
の影響と対応－：山梨県富士山科学研究所
- ・後援 シンポジウム「火山噴火の中長期的予測に向けた研究の現状と今後の課題」：  
地震・火山噴火予知研究協議会
- ・後援 令和 5 年度成果報告シンポジウム：地震・火山噴火予知研究協議会
- ・後援 令和 5 年度火山工学研究セミナー 浮遊軽石災害セミナー：土木学会 地盤工学  
委員会 火山工学研究小委員会

## 資料6

### ○ 2024 年度秋季大会について

2024 年 3 月 16 日から 28 日にかけて実施した会員アンケートをふまえ、2024 年度秋季大会を以下のように実施する。

#### 学術講演会

会場：北海道立道民活動センター かでる 2・7（札幌市）

口頭発表（ハイブリッド形式）：10 月 16 日（水）から 18 日（金）

ポスター発表（現地発表のみ）：10 月 16 日（水）、17 日（木）にコアタイム予定  
予稿締切は 8 月 29 日（木）午後 4 時の予定（郵送の場合、8 月 22 日締切）

参加費、託児サービス等については、学会 HP・学会 ML で後日アナウンス予定

### ○ 2025 年度秋季大会について

2025 年度秋季大会は、以下のように実施する予定。

日時：2025 年 10 月 1 日（水）～3 日（金）（学術講演会） 4 日（土）（一般講演会）

場所：長野県松本市（「キッセイ文化ホール」の予定）

現地討論会：焼岳（9 月 30 日）・御嶽山（10 月 4 日）

**LOC**：名古屋大学（代表）・信州大学・産総研・京都大学

## 資料7

会誌「火山」発刊・編集状況について

「火山」発刊状況

- 【69巻2号】 2024年6月末発行 合計4編  
巻頭言、論説1編、解説・紹介3編
- 【69巻3号】 2024年9月末発行 合計4編  
論説1編、解説・紹介2編：受理済  
解説・紹介2編：最終原稿提出待ち

査読編集状況

- 【現在査読編集中の通常論文原稿】 計11編  
論説7編、寄書2編、解説・紹介2編
- 【現在査読編集中的特集号（次世代研究者）原稿】 解説・紹介2編.

## 資料8

「火山」オンデマンド印刷冊子の冊子販売価格

2024年1月12日付 [火山学会:1871] で周知を行った希望者への冊子体販売について、第2回理事会において以下の販売価格とすることが承認された。

【会員が年間購読する場合】

以下の購読料（4号分、送料込）を会費とは別に徴収する。

- ・維持会員及び学会会員： 3,000 円
- ・一般会員・学生である維持会員及び学会会員： 2,000 円

【会員が各号を単独で購読する場合】

会員種別に関わらず、1号あたり 1,000 円+送料

【非会員が各号を単独で購読する場合】

1号あたり 3,000 円+送料

なお、定期購読については、従来通り 11,000 円/年とする。

## 資料 9

### ○ 70 周年記念事業ワーキンググループの活動報告

これまでに 3 回の会合を開催し、学会誌「火山」特集号の方針およびその考え方等について検討し、方針案を決定した。

#### (1) 学会誌「火山」特集号の方針およびその考え方（編集委員会への提案）

特集名：「この 10 年で進展した火山学のトピックス」

- ・これまで「火山」では、十年毎に、火山学の各分野を網羅的にレビューする特集を組んできたが、分野によっては十年前に行ったレビューからの進捗にも濃淡があると考えられる。70 周年記念事業においては、近年著しい進展や新たなアプローチのあった分野にフォーカスしたトピックスで構成することとした。
- ・近年の火山学に関わる各分野は連携研究が進むなどボーダレス化の様相を示すものもある。そのようなトピックでは関連する研究者の共著として寄稿を求めることも提案された。

#### (2) 今後の予定

報告書の項目の検討。そのとりまとめを行うために新たな委員の補充が必要かを検討。

### ○ 「学会運営の強化について」（令和 5 年 5 月 22 日）のフォローアップ（報告）

#### (1) 「学会運営の強化について」に基づいた実施事案

- ・学会誌「火山」を第 69 巻第 1 号（2024 年 3 月 31 日）より、電子版へ完全移行（編集委員会）。
- ・電子投票方式の導入のための規程改定。 ・事務局の複合機リース契約の廃止等による節約。

#### (2) 財務状況と今後の見込み

コロナ禍における活動縮小時期を除けば、近年は概ね毎年度 100 万円程度の支出超過の状況であった。学会誌の電子化により、2024 年度に期待される支出の削減の目途は 100 万円程度だが、依然として安定した財務状況とは言い難い。

#### (3) 安定的な財務状態の継続にむけた今後の方向性の検討

今後も長期的な視点から、「学会運営の強化について」をふまえつつ、包括的な検討を継続し実施していくことが重要である。財務状況の安定化には会員数の拡大（学会費収入の増加）が欠かせないが、そのためには学会員が会員としてのメリットを感じる必要がある。また、事業収入を強化しようとするれば、その事業に関わる新たな人的・経済的なリソースも必要。

- ・会費の値上げ ・学会活動の縮小 ・会員数のさらなる確保 ・事業収入の強化
- 以上をバランスよく検討し、今後の学会の財務基盤を充実させ、魅力ある学会運営を目指す。

## 資料 10

- 地震火山地質こどもサマースクールについて
  - ・2024 年度@平塚の準備状況  
三好ジオパーク構想地域とその周辺にて 8 月 7 日（水）～8 日（木）に実施予定。  
地質学会が主担当
  - ・2025 年度は御嶽山をテーマとして長野県木曽町周辺（火山学会が主担当）で開催予定。
  
- 火山実験交流会の実施報告  
3 月 2 日, 3 日に、板橋区立教育科学館において「全国火山実験研究交流会」を開催した。  
（主催：板橋区立教育科学館・日本火山学会）  
出展者 81 名、来客数 500 名以上（小学生以上の入場者数, 幼児未集計）の参加者。  
実行委員会形式とし、5 団体から寄付を得つつ実施。
  
- 「一家に 1 枚」ポスター  
これまで、学校教育委員会主体で応募をしてきたが、今回は学会全体で取り組む方針。  
今後 WG を立ち上げて、進める予定。

## 資料 11

2024 年度日本火山学会各賞の授賞選考結果について

各賞選考委員会から提案された日本火山学会各賞の授賞候補者について、2024 年度第 1 回理事会において以下の通り承認した。

■日本火山学会賞：授賞対象者なし

■日本火山学普及啓発賞

● 小松美加・（一財）東京大学出版会

「書籍の編集と出版を通じた火山学の発展と普及への貢献」

■日本火山学会優秀学術賞

● 相澤広記（九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター）

「電磁気学的観測・実験・計算に基づく火山噴火準備過程及び噴火現象の総合的研究」

■日本火山学会研究奨励賞

● 田中 良（北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター）

「火山浅部熱水系の活動プロセスの理解を目指した多項目観測と数値実験による複合的研究」

■日本火山学会学生優秀論文賞

● 柘植鮎太（北海道大学大学院理学院自然史科学専攻，現在：東京大学地震研究所）

Ayuta Tsuge, Hiroshi Aoyama, Kenji Nogami, Fujio Akita and Kazuhiko Kato (2023)  
Eruption dynamics and plumbing system of Shikabe Geysir in southern Hokkaido, Japan,  
revealed by field observation inside and outside the conduit.

Journal of Volcanology and Geothermal Research, 2023, 440, 107851,

doi:10.1016/j.jvolgeores.2023.107851

● 田辺暖柊（九州大学大学院理学府地球惑星科専攻，現在：気象庁）

Harutou Tanabe, Takeshi Matsushima, Koki Aizawa and Dan Muramatsu (2023)

Multi-parametric observations of intermittent hydrothermal water discharge in West  
Crater of Iwo-Yama volcano, Kirishima Volcanic Complex, Japan.

Earth Planets Space, 2023, 75,75, doi:10.1186/s40623-023-01830-7

■日本火山学会論文賞

- 星住英夫・宮縁育夫・宮城磯治・下司信夫・宝田晋治 (2022)

阿蘇火山, 阿蘇4/3降下テフラ群の層序と噴火活動史—阿蘇4火砕流噴火への準備過程—

火山, 2022, 67, 1, 91-112, doi:10.18940/kazan.67.1\_91

- Hiroki Miyamachi, Hiroshi Yakiwara, Reiji Kobayashi *et al.* (2023)

Solidified magma reservoir derived from active source seismic experiments in the Aira caldera, southern Kyushu, Japan.

Earth Planet and Space, 2021, 75, 166, doi:10.1186/s40623-023-01919-z